

セイコーウォッチ株式会社 <http://www.seiko-watch.co.jp/>

お客様相談窓口 全国フリーダイヤル 0120-612-911 (下記の最寄りに着信いたします)

## お客様相談室

東京 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-1-10

大阪 〒550-0013 大阪市西区新町 1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング 8階

## お客様相談係

札幌 〒060-0061 札幌市中央区南一条西 7-20-1 札幌スカイビル 4階 セイコーサービスセンター内

福岡 〒810-0801 福岡市博多区中洲 5-1-22 松月堂ビル 6階 セイコーサービスセンター内

SEIKO  
PROSPEX  
マリノマスター  
プロフェッショナル 600

5R66

取扱説明書  
INSTRUCTION

- この度はセイコープロスペックスをお買い上げいただき、ありがとうございます。
  - この時計は極めて高い防水品質を持つ本格的プロフェッショナルダイバーズウォッチです。
  - ダイバーズウォッチとして、その機能を充分に発揮できるように設計・製作に配慮してありますので、安心してご使用いただけます。
  - 永らくご愛用いただくために、この説明書をよくお読み頂き、正しくお取扱ください。
- ※お買い求めの際の金属バンドの調整はお買い上げ店・弊社お客様相談窓口(裏表紙に記載)にて承っておりますが、その他のお店では有料もしくはお取扱いいただけない場合があります。

## 警告

取扱いを誤った場合に、重傷を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示します。

## 注意

取扱いを誤った場合に、軽傷を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示します。

## 目次

■潜水に際しての注意事項 (※必ずお読みください)	3
■製品の特長	5
■各部の名称	6
■ご使用方法 (ゼンマイの巻きかた)	7
■時刻・日付合わせ、時差修正使用方法	10
■パワーリザーブ表示の見かた	27
■回転ベゼルの使いかた	29
■ダイバージャスターの操作	30
■ルミブライトについて	31
■使用上の注意とお手入れの方法	32
■こんな時には、	36
■アフターサービスについて	38
■補修用性能部品について	38
■製品仕様	39

## ■潜水に際しての注意事項 (※必ずお読みください)

## ◇潜水前

次の項目を点検してください。

- ①時刻が正確にセットされているか。
- ②パワーリザーブ表示が1/2以上あるか。少なかつた場合、リュウズ回してゼンマイを巻き上げてください。→「●リュウズでのゼンマイの巻きかた」をご参照ください。
- ③回転ベゼルの回り具合は良好か。(所定の時間にセットされているか。ゆるすぎたり、きつすぎたりしないか。)
- ④リュウズのねじをしっかり締めてあるか。
- ⑤バンドとガラスにひび、カケ等の異常がないか。
- ⑥ケースのねじにゆるみがないか。
- ⑦バンドの固定は確実か。(パネ棒、止め金、その他。)



## 注意

万一、異常が認められた場合は、お買い上げ店にご相談ください。

## ◇潜水前

- 4 陸和潜水において、水中でのリュウズ 操などにつけたい 回転ベゼルは水の水深600mまでの範囲 作はしないでください。よう注意してください。ではやや回転がきつくなる場合がありますが、異常ではありません。

## ◇潜水後

海水を真水でよく洗い落とし、サビなどが出ないようにしてください。また時計を洗った後よく拭いてください。

## ■製品の特長

## ●防水性能について

この時計は、ヘリウムガスを使用する飽和潜水向け仕様として、水深600メートルに充分耐えうる高耐圧防水性と、長期間の水中使用に耐えうる優れた耐水性をあわせ備えています。

## ●スプリングドライブについて

スプリングドライブとはセイコー独自の機構で、ゼンマイが巻き解ける力を唯一の動力源としながらも、クォーツ時計と同等の高精度を実現した機構です。(機構の詳細は別冊の「スプリングドライブ・ハンドブック」をお読みください。)

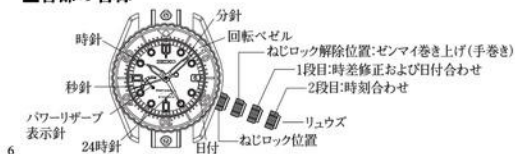
ゼンマイを十分に巻き上げた状態から、約72時間(約3日間)動き続けます。ゼンマイの巻き上げ状態がわかるパワーリザーブ表示付きです。秒針は完全に滑らかなスイープ運動で動きます。巻き上げ方は自動巻きですが、手巻き機構も併せて備えていますので、始動時の巻き上げに便利です。

さらに、日付連動式の時差修正機構付きで、24時針が付いています。

## 注意

スプリングドライブはゼンマイの力で動きます。パワーリザーブ表示の残量が無くなる前に十分に巻き上げてご使用ください。特に低温下(0℃以下)では、パワーリザーブ表示が「1/6」以下になると止まる可能性がありますのでご注意ください。

## ■各部の名称



※リュウズはねじロック方式を採用しています。リュウズ操作をする場合は、ロックを解除してご使用ください。リュウズ操作をしない場合は必ずロック状態にしておいてください。また、ねじ込む際は、ねじのかみあい具合に注意しゆっくとねじ込んでください。回しにくい場合は元に戻してからやり直してください。無理にねじ込むとねじ部(ケース)を壊す恐れがあります。

### △警告

※回転ベゼルのメンテナンスを考慮して、ケース上面の2箇所のねじを外すことで、回転ベゼルを着脱できる構造となっていますが、絶対に緩めたりしないでください。メンテナンスはセイコーが責任を持って行います。

## ■ご使用方法 (ゼンマイの巻きかた)

この時計は自動巻き式(手巻き付き)です。  
 ・ゼンマイは、腕につけてご使用いただく際には、通常の腕の動きで自然に巻き上がります。  
 ・止まっている時計をお使いになる場合には、リュウズを回してゼンマイを巻き上げることをお勧めします。

### ●リュウズでのゼンマイの巻きかた

①リュウズは、ねじロック仕様となっております。リュウズを左(6時方向)7に回してねじロックを解除してください。(ねじロックが完全に解除されると、リュウズは締めこんだときの位置よりも少し外側に出ます。)



②ねじロックが解除されましたら、リュウズを押し付けないように注意しながら右(12時方向)にゆっくり回して、ゼンマイを巻いてください。

※リュウズを5回転させると約10時間分のパワーリザーブが得られます。巻き上げ操作時の目安にしてください。

※なお、リュウズを左(6時方向)に戻してもゼンマイは巻き上がりません。空回りする構造になっています。

③パワーリザーブ表示針がフル巻き上げ表示になるまで、ゼンマイを巻いてください。秒針が動きはじめます。



④リュウズを押し付けないが右(12時方向)に回し、止まるところまでねじ込んでください。

※ゼンマイの巻き上がり量については27ページ「**■パワーリザーブ表示の見かた**」をご参照ください。

※フル巻き上げの状態からさらにリュウズを回しても、リュウズは止まらずに回転させることができます。リュウズを回し続けても時計が壊れることはありませんが、ゼンマイはそれ以上巻き上がりませんので過剰な操作はお控えください。

※リュウズをねじ込んでいるときに若干のクリック感がありますが、これはゼンマイが巻き上げられる感覚が伝わっているのもですので問題はありません。

## ■時刻・日付合わせ、時差修正使用方法

### ●時刻の合わせかた

・必ず時計が動いている状態(ゼンマイが巻き上げられた状態)で、日付・時刻の合わせをしてください。  
 ・この時計の24時針の使いかたには、2つのタイプがあります。そのタイプによって時刻の合わせかたが異なりますので、どんな使いかたにするか選択してから時刻合わせをしてください。

⑩<タイプ1> 通常の24時針として使用する場合(午前・午後が読める)

・普通の使い方がこのタイプになります。  
 ・たとえば、時、分、24時針とも日本時間に合わせた時計を、海外旅行中に旅先の時刻に時差修正で合わせた際、24時針で日本時間を知ることができ便利です。



<タイプ2> 24時針に他の地域の時刻を表示させて使用する場合  
 ・住む場所とは、異なる時刻(時差のある時刻)に合わせておき、24時針と分針とでデュアルタイム表示として使用する場合にこのタイプを選びます。  
 ・たとえば、24時針を世界標準時(GMT)に合わせて、分針を日本時間に合わせると、いつでも24時針でGMTを確認できることになります。



### 24時針を普通の24時針として合わせる方法<タイプ1>を選択した場合>

①リュウズを左(6時方向)に戻してねじロックを解除してから、2段目まで引き出してください。

※秒針が止まりますので、秒針が0秒に来た時に引き出してください。

※必ず時計が動いている状態(ゼンマイが巻き上げられた状態)で時刻合わせをしてください。



ねじロック解除位置  
 2段目  
 ねじロック位置

②リュウズを左に回し、24時針と分針に注目し現在時刻に合わせます。



<例> 午前10時0分に合わせる場合は・・・  
 24時針を24時の10時(=5時位置)、分針を0分に合わせます。  
 午後6時0分に合わせる場合は・・・  
 24時針を24時の18時(=9時位置)、分針を0分に合わせます。

※時計が合わせる時刻と異なる時刻を示している場合がありますが、24時針と分針のみを見て合わせてください。(時計は後から合わせます。)

※この時、時計針の位置によって日付修正される場合がありますが、これも後で合わせられますのでご安心ください。

※合わせたい時刻の手前から分針をゆっくり回して合わせてください。

- ③時報と同時にリュウズを押し込んでください。  
 ※24時針、分針、秒針のみ現在時刻に合った状態になっています。  
 ※時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

④リュウズを1段目まで引き出してください。



14

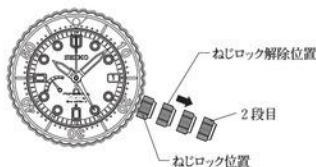
- ⑤リュウズを回転させ、時針を現在時刻に合わせてください。  
 ※日付を合わせる場合は、ここで一緒に合わせてください。  
 (詳しくは→21ページ「●日付の合わせかた」を参照)  
 ※日付が変わるところが午前0時ですので、午前・午後を間違えなく合わせてください。  
 ※リュウズの回転の際、時針の1時間単位の動きを確認しながら静かに回してください。  
 ※時針を修正している時、その他の針が少し動きますが故障ではありません。

⑥合わせ終わったらリュウズを押し込んでください。さらに押し付けながら15右(12時方向)に回して止まるところまでねじ込んでください。  
 ※リュウズをねじこんでいる時に若干のクリック感がありますが、これはゼンマイが巻き上げられる感触が伝わっているものですので問題はありません。

24時針を他の地域の時刻として合わせる方法<タイプ2を選択した場合>

①リュウズを左(6時方向)に回してねじロックを解除してから、2段目まで引き出してください。

- ※秒針が止まりますので、秒針が0秒に来た時に引き出してください。  
 ※必ず時計が動いている状態(ゼンマイが巻き上げられた状態)で時刻合わせをしてください。



16

②リュウズを左に回し、24時針と分針に注目し合わせたい「他の地域」の時刻に合わせてください。



<例> 24時針で、ロンドンの時刻を表示し、時分針で日本時間を表示させる場合…  
 日本時間午前10時0分の場合、ロンドンでは、午前10時0分になります。  
 24時針を24時針の1時(12時と1時の間)、分針を0分に合わせます。

- ※他の地域として選択できるのは、日本時間からの時差が1時間単位で地域に限られます。  
 ※時針が合わせる時刻と異なる時刻を示している場合がありますが、24時針と分針のみを見て合わせてください。(時針は後から合わせます。)  
 ※この時、時針の位置によって日付修正される場合がありますが、これも後で合わせられますのでご安心ください。  
 ※合わせたい時刻の手前から分針をゆっくり進めて合わせてください。

17

- ③時報と同時にリュウズを押し込んでください。  
 ※24時針、分針、秒針のみ「他の地域」の時刻に合った状態になっています。  
 ※時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

④リュウズを1段目まで引き出してください。



18

- ⑤リュウズを回転させ、時針を現在時刻(日本時間)に合わせてください。  
 ※日付を合わせる場合は、ここで一緒に合わせてください。  
 (詳しくは→21ページ「●日付の合わせかた」を参照)  
 ※日付が変わるところが午前0時ですので、午前・午後を間違えなく合わせてください。  
 ※リュウズの回転の際、時針の1時間単位の動きを確認しながら静かに回してください。  
 ※時針を修正している時、その他の針が少し動きますが故障ではありません。

⑥合わせ終わったらリュウズを押し込んでください。さらに押し付けながら19右(12時方向)に回して止まるところまでねじ込んでください。  
 ※リュウズをねじこんでいる時に若干のクリック感がありますが、これはゼンマイが巻き上げられる感触が伝わっているものですので問題はありません。

より正確に時刻合わせをするために!

・スプリングドライブ機構の構造上、より正確な時刻合わせをしていただくには、下記の点にご注意ください。

- 時刻合わせをする場合は、ゼンマイを充分(パワーリザーブ表示がフル巻き)巻き上げてください。
- 止まっている時計を動かした場合は、ゼンマイを充分巻いて30秒程度秒針が動いてから、リュウズを2段目に引き出してください。
- リュウズを2段目まで引き出して秒針を止めている時間は、「30分以内」にしてください。これ以上の時間引き出していた場合は一旦リュウズを押し込み、30秒程度は秒針が動いてから、時刻合わせをし直してください。

20

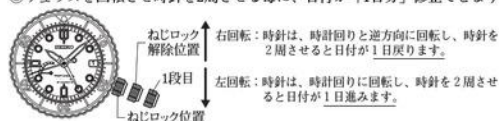
●日付の合わせかた

- この時計の日付修正は、時差修正の方法で時針を2周させて1日分の日付修正を行います。(23ページ「●時差修正の使いかた」を参照ください。)
- 時針を時計回りに2周させると「日を送る」こととなり、逆回転させると「日を送る」ことができます。
- 時刻合わせの後の日付合わせや、前月が小の月(2,4,6,9,11月)の場合、修正を行ってください。

①リュウズを左(6時方向)に回してねじロックを解除してから、リュウズを1段目まで引き出してください。

21

②リュウズを回転させ時針を2周させる毎に、日付が「1日分」修正できます。



右回転: 時針は、時計回りと逆方向に回転し、時針を2周させると日付が1日戻ります。

左回転: 時針は、時計回りに回転し、時針を2周させると日付が1日進みます。

※日付はどちらの方法で修正してもかまいません。日付修正が少ない方向を選択してください。

※リュウズの回転は、静かに行ってください。

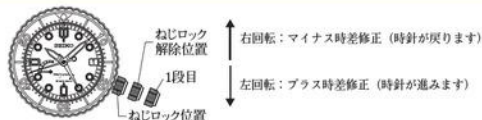
※2周単位で時計を回転させると、時刻を変えることなく日付の修正ができます。

※時計を修正している時、その他の針が少し動きますが故障ではありません。

③日付合わせが終わったら、時計の位置を再度確認してリュウズを押し込んでください。

さらに押し付けながら右（12時方向）に回して止まるところまでねじ込んでください。

22 ※リュウズをねじこんでいる時に若干のクリック感がありますが、これはゼンマイが巻き上げられる感触が伝わっているものですので問題はありません。



※「●都市と時差の比較表」の日本時間との時差を参照してください。

24 ※時差修正をするときは、午前・午後および日付等にご注意ください。

※時計を修正している時、その他の針が少し動きますが、故障ではありません。

※リュウズ右回転で時差修正をしてAM0:00を通過してPM9:00~AM0:00付近に合わせる場合は一旦、PM8:00まで戻し合わせてください。

③時差修正が終わったら、時計の位置を再度確認してリュウズを押し込んでください。さらに押し付けながら右（12時方向）に回して止まるところまでねじ込んでください。

※リュウズをねじこんでいる時に若干のクリック感がありますが、これはゼンマイが巻き上げられる感触が伝わっているものですので問題はありません。

### ●時差修正の使いかた

・海外旅行等で時差のある地域へ移動した場合、時計を止めることなく現地の時刻に合わせてくれます。

・この修正は、日付に連動していますので、正しい時差修正が行なわれると現地の日付を表示させることができます。

### 時差修正のしかた

①リュウズを左（6時方向）に回してねじロックを解除してから、リュウズを1段目まで引き出してください。

②リュウズを回転して時差修正を行ってください。

時計だけが修正されます。

※1時間単位で時計の動きを確認しながらリュウズを回してください。

23

### ●都市と時差の比較表

※都市名・日本時間との時差は以下のとおりです。

都市名	日本時間との時差	その他の都市
ウエリントン★	+3時間	フィージー諸島 オークランド★
ヌメア	+2時間	ソロモン諸島
シドニー★	+1時間	グアム島 ハバロフスク★
東京	±0時間	ソウル 平壤
香港	-1時間	マニラ 北京 シンガポール
バンコク	-2時間	ジャカルタ
ダッカ	-3時間	
カラチ	-4時間	タシケント★
ドバイ	-5時間	
モスクワ★	-6時間	メッカ ナイロビ
カイロ★	-7時間	アテネ★ イスタンブール★

25

パリ★	-8時間	ローマ★ アムステルダム★
ロンドン★	-9時間	カサブランカ
アラス諸島★	-10時間	
リオデジャネイロ★	-12時間	
カラカス	-13時間	サンティアゴ★
ニューヨーク★	-14時間	ワシントン★ モントリオール★
シカゴ★	-15時間	メキシコシティ★
デンバー★	-16時間	エドモントン★
ロサンゼルス★	-17時間	サンフランシスコ★
アンカレッジ★	-18時間	
ホノルル	-19時間	
ミッドウェイ島	-20時間	

★…サマータイム有り

※各都市の時差、およびサマータイムは国または地域の都合により変更する場合があります。

26

### ■パワーリザーブ表示の見かた

・パワーリザーブ表示で、ゼンマイの巻き上げ具合が確認できます。

・時計を腕から外して置いておく際には、次にご使用（携帯）されるまで動き続けるかどうかをパワーリザーブ表示でご確認の上、必要に応じてゼンマイを巻き上げてください。（時計を止めないためには、必ず余裕を持った時間分を巻き上げるようにしてください。）

パワーリザーブの指示	フル巻き上げの状態	半分程度巻き上がった状態	巻き上げ無しの状態
ゼンマイの状態	フル巻き上げの状態	半分程度巻き上がった状態	巻き上げ無しの状態
持続時間	約72時間（約3日間）動きます。	約36時間（約1日半）動きます。	時計は止まっているか、止まる直前の状態です。

※フル巻き上げ状態でリュウズをそれ以上回しても、あるいは自動巻き機構による巻き上げが行なわれても、ゼンマイが損傷を受けることはありませんのでご安心してお使いください。この時計のゼンマイは自動巻き機構特有の構造（スリッピングアタッチメント）の働きで、ゼンマイが巻き止まらないようになっています。

※モデルによって、「パワーリザーブの指示」位置が若干異なる場合があります。

27

### ●自動巻き機構によるゼンマイ巻き上げの目安について

・ご使用時間と巻き上げ具合の目安は下記の通りです。実際にはお客様のご使用状況（時計を携帯使用される時間や運動量等）によって異なってきますので、パワーリザーブ表示でご確認ください。

1日当たり12時間の携帯で連続して3～5日間ご使用されると、フル巻き上げになると思われます。

※1日のご使用時間が短い場合などは、パワーリザーブ表示をご確認の上、必要に応じてゼンマイを巻き上げてください。

28

### ■回転ベゼルの使いかた

#### ●経過時間の測定

・回転ベゼルの動かし▼マークを分針に合わせてください。ある時間が経過した後に、分針の指す回転ベゼル上の目盛を読めば、その時までの経過時間がわかります。

・回転ベゼルには0.5分単位のクリック装置がついていますので、目盛のセットがしやすいと同時に、ショックなどで不用意に回転することを防ぎます。

右図は10時10分潜水開始（▼位置）後、30分経過したことを示しています。

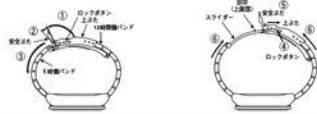


29

## ■ダイバーアジャスターの操作

バンドの長さを簡単に調節する機構です。ウェットスーツの上に着用する際などにお役立て下さい。

- ①安全ぶたを90度程度起こします。
- ②安全ぶたをさらに20度程度倒します。多少抵抗がありますが、軽力で倒れますので力を入れ過ぎないようにご注意ください。
- ③②の動作の後、6時間のバンドをバンドカーブに沿う方向に（曲線を描くように）引きます。この際を軽力で引きますので、力を入れ過ぎないようにしてください。スライダーは約30mm伸びますが、上面の「目印」以上には引き出さないようにご注意ください。
- ④矢印のロックボタンを押してから、上ぶたを持ち上げ、バックルを開放します。この状態で手首につけてください。
- ⑤手首につけたら上ぶた、安全ぶたの順に閉じてください。
- ⑥時計をつけている方の手で、バンドを適当なところで縮めてください。



## ■使用上の注意とお手入れの方法

### △ 注意

#### 日常のお手入れ

- ダイビングなど海水中でのご使用のあとは、真水で洗い、よく拭き取ってください。化学薬品を使って洗わないでください。
- 回転ベゼルは、ベゼルの下に汚れなどがたまり機能を損なう場合がありますので清潔にしてご使用ください。
- 金属バンドについては、時々柔らかい歯ブラシ等を使い、石けん水で部分洗いなどのお手入れをお願いします。

## ■ルミブライトについて

「ルミブライト」は、放射能等の有害物質を全く含んでいない、環境・人に安全な蓄光（蓄えた光を放出する）物質です。ルミブライトは、太陽光や照明器具の明りを短時間（約10分間：500ルクス以上）で吸収して蓄え、暗い中で長時間（約3～5時間）光を放つ夜光です。なお、蓄えた光を発光させていますので輝度（明るさ）は時間が経つに従ってだんだん弱まってきます。また、光を蓄える際のまわりの明るさや時計との距離、光の吸収割合には多少の誤差が生じることがあります。特に暗く環境での潜水の際は、光が十分に吸収されていないと水中で発光しない場合があります。最低でも上記条件の光をあてるか、水中ライトを併用して潜水される様、十分ご注意ください。

〈照度データ〉（目安値）

- 太陽光 [晴天] 100,000ルクス [曇天] 10,000ルクス
- 屋内 [昼間窓側] [晴天] 3,000ルクス以上 [曇天] 1,000ルクス～3,000ルクス [雨天] 1,000ルクス以下
- 照明 [白色蛍光灯40Wの下] [1m] 1,000ルクス [3m] 500ルクス [通常室内レベル] [4m] 250ルクス

### △ 注意

#### かぶれやアレルギーについて

- バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
- かぶれやすい体質の人や、体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
- かぶれの原因として考えられるのは、
  1. 金属・皮革に対するアレルギー
  2. 時計本体及びバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗などです。
- 万一顔などに異常を生じた場合は、ただちに使用を中止し、医師にご相談ください。

#### その他、携帯上ご注意ください

- 転倒時や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬケガを負う場合がありますのでご注意ください。
- 特に幼児を抱いたりする場合は、時計に触れることでケガを負ったり、アレルギーによるかぶれをおこしたりする場合がありますので、十分にご注意ください。
- 落としたりぶついたりはもちろんのこと、激しいスポーツなどによるショックもお避けください。時計が一時的に遅れたり進んだりします。

## 保管について

- 「-10℃～+60℃からはずれた温度」下では機能が劣化したり、停止したりする場合があります。
- 磁気の影響（テレビ、スピーカ、磁気ネックレス等）があるところに放置しないでください。
- 強い振動のあるところに放置しないでください。
- 極端にホコリの多いところに放置しないでください。
- 薬品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。（薬品の例：ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、およびそれらを含有するもの＝ガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ用洗剤、接着剤など＝水銀、ヨウ素系消毒薬など）
- 温泉や、防虫剤の入った引き出しなど特殊な環境に放置しないでください。

## 定期点検について

- 機種5R6の点検及び分解掃除はメーカーに行ないますので、販売店にはメーカーへ依頼するようお申しつけください。
- ながくご愛用いただくために、3～4年に一度程度の分解掃除による点検調整（オーバーホール）をおすすめします。ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、時計の進み、遅れが大きくなる場合があります。また、パッキン等の部品の劣化が進み、汗や水分の侵入などを防水性能が損なわれる場合があります。分解掃除による点検調整を、お買い上げ店にご相談ください。
- 部品交換の際は、「純正部品」とご指定ください。
- 定期点検の際には、パッキンやバネ棒の交換もあわせてご依頼ください。

※ダイバーズウォッチの使用環境は、ケースやバンド以外に内部の機械にもその影響を与える場合がありますので、上記の期間を目安に定期的な点検（オーバーホール）をお勧めします。

## ■こんな時には

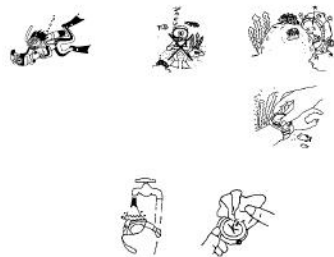
現象	考えられる原因	このようにしてください
時計が止まっている。	ゼンマイのエネルギーがなくなった。	●ゼンマイの巻きかたに従ってゼンマイを巻き上げ、時刻を合わせ直してご使用ください。携帯中や時計を外す際は、パワーリザーブ表示の針を確認し、必要に応じてゼンマイを巻いてください。
毎日使用しているが、パワーリザーブ表示が上がりません。	携帯時間が少ないか、あるいは腕の動きが少ない。	携帯使用する時間を長くしていただくか、時計を外す際のパワーリザーブ表示の残量が次にご使用されるまでの時間分に足りない場合は、リュウズを回してゼンマイを巻き上げてください。
時計が一時的に進む/遅れる。	暑いところ、または、寒いところへ放置した。	常温に戻れば元の精度に戻ります。時刻を合わせ直してください。この時計は気温5℃～35℃で腕につけたときに安定した時間精度が得られるように調整してあります。
	磁気を発生するものそばに置いた。	磁気を遠ざけると、元の精度に戻ります。時刻を合わせ直してください。
	落としたり強くぶついたりまたは激しいスポーツをした。強い振動が加えられた。	元に戻らない場合には、お買い上げ店にご相談ください。
	パッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った。	時刻を合わせ直してください。元に戻らない場合には、お買い上げ店にご相談ください。
ガラスのくもりが消えない。		お買い上げ店にご相談ください。
パワーリザーブ表示の残量があるのに時計が止まった。	低温下(0℃以下)に放置した。	低温下(0℃以下)では、パワーリザーブ表示が[1/6]以下のときは時計が止まる場合があります。リュウズを回してゼンマイを巻いてください。
止まっている時計を動かした後、時刻合わせをしたら、秒針の進みが早く見えた。	動き出す際、調整機構が働くまではやや時間がゆかかります。（故障ではありません）	調整機構が働くまで数秒間かかります。より正確に時刻を合わせるには、30秒程度秒針が動いてから時刻合わせをしてください。
日付が、日中に変わる	時刻合わせが12時間ずれている	12時間、針を進めて時刻および日付を合わせ直してください。 ※その他の現象は、お買い上げ店にご相談ください。

⚠

⚠

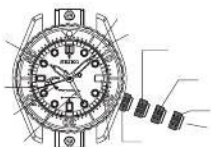
ManualsLib.com

⚠



⚠

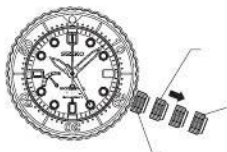
---



⚠

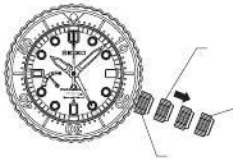


ManualsLib.com





---



---

ManualsLib.com



<hr/> <hr/> <hr/>
-------------------



---

---

---




ManualsLib.com

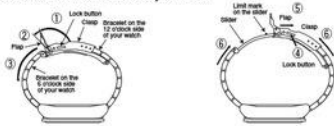




## HOW TO USE THE DIVER ADJUSTER

The Diver Adjuster is a bracket mechanism to adjust the bracelet length of your Diver's Watch. It is very useful when you wear the watch over a wet suit.

1. Lift up the flap approximately 90° until it stands upright. Do not extend the slider at this step.
2. Lightly push back the flap further approximately 20°.
- When doing so, take care not to push the flap forcibly as more force is required to do so than to lift up the flap.
3. Lightly pull the bracelet on the 6 o'clock side of the watch along the curved line of the bracelet to pull out the slider. When doing so, take care not to pull the bracelet forcibly. The slider can be pulled out approximately 30 mm. Be careful not to pull it out beyond the limit mark inscribed on it.
4. While pressing the lock button indicated by the arrow (4), lift up the clasp to release the buckle, and put on the watch on your wrist.
5. Close the clasp first and then, the flap.
6. Hold the bracelet on both the 6 and 12 o'clock sides of the watch with fingers to reduce the length of the slider until it fits well around your wrist.



## LUMIBRITE (IF YOUR WATCH HAS LUMIBRITE)

LumiBrite is a luminous paint is completely harmless to that human beings and natural environment, containing no noxious materials such as radioactive substance. LumiBrite is a newly-developed luminous paint that absorbs the light energy of the sunlight and lighting apparatus in a short time and stores it to emit light in the dark.

For example, if exposed to a light of more than 500 lux for approximately 10 minutes, LumiBrite can emit light for 5 to 8 hours. Please note, however, that, as LumiBrite emits the light it stores, the luminance level of the light decreases gradually over time. The duration of the emitted light may also differ slightly depending on such factors as the brightness of the place where the watch is exposed to light and the distance from the light source the watch.

When you make a dive in the dark water, LumiBrite may not emit light unless it absorbs and stores light sufficiently.

Before diving, therefore, be sure to expose the watch to light under the condition specified above so that it fully absorbs and stores light energy. Otherwise, use the watch together with an underwater flashlight.

- <Reference data on the luminance>
- (A) Sunlight  
 (Fine weather) : 100,000 lux (Cloudy weather) : 10,000 lux
- (B) Indoor (Window side during daytime)  
 (Fine weather) : more than 3,000 lux (Cloudy weather) : 1,000 to 3,000 lux  
 (Rainy weather) : less than 1,000lux
- (C) Lighting apparatus (40-watt daylight fluorescent light)  
 (Distance to the watch : 1m) : 1,000 lux  
 (Distance to the watch : 3m) : 500 lux (average room luminance)  
 (Distance to the watch : 4m) : 250 lux

## TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

### CAUTION

#### Daily care

- After using the watch in seawater, for instance, after diving, rinse it in fresh water and wipe thoroughly dry. Do not use chemicals to wash the watch.
- Clean the rotating bezel regularly. If dust gathers under the bezel, the rotation of the bezel will become difficult.
- Clean the soiled part of the metal band using a soft toothbrush dipped in soapy water.

### CAUTION

#### RASH AND ALLERGY

- Adjust the bracelet and band so that there will be a little clearance between the bracelet or band and your wrist to avoid accumulation of perspiration.
- If you are constitutionally predisposed to rash, the band may cause you to develop a rash or an itch depending on your physical condition.
- The possible cause of the rash are as follows:
  1. Allergy to metals or leathers
  2. Rust, dust or perspiration on the watch or band
- If you develop any skin reactions, take off the watch and consult a doctor immediately.

## PRECAUTIONS ON WEARING YOUR WATCH

- In case you tumble and fall or bump into others with the watch worn on your wrist, you may be injured by the reason of the fact that you wear the watch.
- When you make contact with children, especially with infants, they may get injured or develop arush caused by allergy.
- Do not drop the watch or hit it against a hard surface and not wear the watch while playing active sports, the watch may gains/loses time.

## PLACES TO KEEP YOUR WATCH

- If the watch is left in a temperature below -10°C or above +60°C for a long time it may function improperly or stop operating.
- Do not leave the watch in a place where it is subjected to strong magnetism or static electricity.
- Do not leave the watch where there is strong vibration.
- Do not leave the watch in a dusty place.
- Do not expose the watch to gases or chemicals.  
 (Ex.: Organic solvents such as benzene and thinner, gasoline, nail polish, cosmetic spray, detergent, adhesives, mercury, and iodine antiseptic solution.)
- Do not leave the watch in a hot spring, or do not keep it in a drawer having insecticides inside.

## PERIODIC CHECK

- Checking and overhaul of the watch (cal. 5R66) will be performed by SEIKO. When you take the watch to the retailer from whom it was purchased, request that the watch will be checked and overhauled by SEIKO.
- We suggest that you have your watch checked by SEIKO every 3 or 4 years for oil condition or damage due to water or sweat. After checking the watch, adjustment and repair may be required.
- When replacing the parts, please specify "SEIKO GENUINE PARTS."
- Be sure to have the gasket and push-pin replaced with new ones when checking the watch.

※Depending on the environment where a diver's watch is used, its inner parts or movement as well as its case or band may be affected. We recommend that you have your watch overhauled regularly at every period indicated above.

## TROUBLE SHOOTING

Trouble	Possible cause	Solution
The watch stops operating.	The power supplied by the mainspring has been consumed.	Refer to ■HOW TO USE (HOW TO WIND THE MAINSPRING) to wind the mainspring and reset the time. While you are wearing the watch or when you take it off, check the remaining power shown by the power reserve indicator and wind the mainspring if necessary.
Even though you wear the watch every day, the power reserve indicator does not move up.	The watch is worn on your wrist only for a short period of time, or the amount of arm movement is small.	Wear the watch for an extended period of time, or when taking off the watch, turn the crown to wind the mainspring if the remaining power shown by the power reserve indicator is not sufficient for the next use.
The watch temporarily gains or loses time	The watch has been left or worn in extremely high or low temperatures. The watch is left close to an object with a strong magnetic field. You drop the watch, hit it against a hard surface, or wear it while playing active sports. The watch is exposed to strong vibrations.	Return the watch to a normal temperature so that it works accurately as usual, and then reset the time. The watch has been adjusted so that it works accurately when it is worn on your wrist under a normal temperature range between 5°C and 35°C. Prevent the watch from making close contact with magnetic objects so that the watch works accurately as usual, and then reset the time. If the watch does not work accurately again after the above procedure, contact the retailer from whom the watch was purchased. Reset the time. If the watch does not work accurately as usual after resetting the time, contact the retailer from whom the watch was purchased.
The inner surface of the glass is clouded.	Moisture has entered the watch because the gasket has deteriorated.	Contact the retailer from whom the watch was purchased.
The watch stops even though the power reserve indicator is not showing "0".	The watch has been left under a temperature below 0°C.	If the watch is left under a temperature below 0°C, it may stop if the power reserve indicator is showing less than one-sixth. In such a case, turn the crown to wind the mainspring.
Right after starting the watch, it seems that the second hand moves quicker than usual when setting the time.	When starting the watch, it takes a little time before the adjustment function starts working (this is not a malfunction).	It takes several seconds before the adjustment function starts working. Set the time after the second hand moves for approximately 30 seconds to set the time correctly.
The date changes at 12 o'clock noon.	AM/PM is not properly set.	Advance the hands for 12 hours to reset the time and date.

※Contact the retailer from whom the watch was purchased for any other troubles.

---

---

---

[ManualsLib.com](http://ManualsLib.com)